

資 料 提 供	
平成25年11月11日	
担 当 課 (担当者)	東部福祉保健事務所 (鳥取保健所) 健康支援課 (山本・織奥)
電 話	0857-22-5694

にほんこうはんねつ
日本紅斑熱患者の発生

11月11日、東部管内の医療機関から日本紅斑熱患者の発生届出がありましたので、お知らせします。

なお、平成25年の本症の県内発生は2例目です。

項 目	内 容	
患 者	60代 (女性)	
	住所地	鳥取市
経 過	10月5日 発熱、発疹、頭痛あり。医療機関を受診。 10月7日 別医療機関を受診。 10月8日 病院を紹介受診。 11月11日 日本紅斑熱と診断確定。 現在、患者は既に回復している。	

※ 患者のプライバシーの確保に十分な配慮をお願いします。

報道機関各位におかれましては、以下の啓発についてよろしくをお願いします。

- 山林での作業、農作業及びレクリエーションで野山や畑等に出かけるときは、マダニに刺されないよう次のことに注意してください。
- 肌を出来るだけ出さないよう長袖、長ズボン、手袋等をしましょう。
- 肌が出る部分には人用防虫スプレーを噴霧しましょう。
- 地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりしないよう敷物をしきましょう。
- 帰った後はすぐに入浴し、体を良く洗い、新しい服に着替えましょう。
- 野山などに出かけられた後、体にマダニに刺されたと思われる刺し口がみられ、発熱、発疹等の症状が出た場合は、速やかに医療機関を受診してください。

〈参考事項〉

1 日本紅斑熱の発生状況（平成25年11月3日現在）

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全国	132	133	190	170	139
鳥取県	0	0	3	1	1

- 1984年に徳島県で初めて確認された疾病で九州や四国地方および中国地方（広島県、島根県）の西日本南西部をはじめ、近畿地方や関東地方の太平洋沿岸地域に多い。

2 日本紅斑熱について

- 本症は、マダニが病原体（リケッチア）を媒介する疾患の一つです。
- ヒトが野山に入ったとき、マダニのうちリケッチアをもつダニ（有毒ダニ）に刺されることによって感染します。
- ヒトからヒトへの感染はありません。
- 潜伏期間は2～8日で、症状は、頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症し、高熱、発疹および刺し口がほとんどの症例にみられる。
- 治療は、早期受診により適切な抗菌薬を投与し、一般的に予後は良好です。
- 予防について
発生時期および発生地を知り、汚染地域に立ち入らないこと。
農作業や森林作業でやむを得ず立ち入る際には、
 - ・ 皮膚の露出を少なくしダニの付着を防ぐ。
 - ・ ダニ忌避剤を使用する。
 - ・ 作業後入浴し、注意深く付着ダニの除去を行う。
この際、感染を防ぐためダニを指でつぶさず、頭部をピンセットなどで摘んで除去する。